

## 《オリーブ千葉6月読書会レジメ》

6月18日パレット柏

ロッキード事件が発覚して今年で41年、この時間の経緯には大きな意味があります。  
アメリカ公文書の秘密指定が続々と解除されつつあるからです。

朝日新聞記者奥山俊宏氏は、ロッキード事件を米国側が、どう扱い、見ていたかを本に書きました。

平野貞夫氏は、当時前尾繁三郎衆議院議長の秘書という立場で、日本政界のごく内側から、日本の有力政治家達がロッキード事件にどう関わったかが書かれています。

この2国間の関係者の生々しい動き、発言は、石原慎太郎氏のフィクション本とは全く別物の面白さがあります。

今回の読書会では、すでに多くの情報が広まっている話ですので、この時間は当時の政界の中でのナマの話をご存じの二見先生からお聞きしながら皆様と活発な討論を致したいと思えます。

### 【参考書】

奥山俊宏朝日新聞編集委員著「秘密解除 ロッキード事件」

平野貞夫氏著「角栄 凄みと弱みの実像」

### 【角栄氏の心情】

#### 角栄氏の外交

- \* 角栄氏、毛沢東と日中国交正常化、ロシアのブレジネフとも北方領土、平和条約問題交渉
- \* 角栄氏は、「持たざる国」の日本は、貿易・開発で経済成長をするしかない。  
太平洋戦争の二の舞を踏まない為、資源獲得ルートを複数確保する必要があると20カ国と資源外交を行った。

#### 戦後憲法の護持

「この憲法は、日本人に消化され、ずっと守られてきた。

今後、ある時期に改正されることがあるとしても、戦争放棄をうたっている九条が改正されることは無い。」

「日本の自衛隊はあくまでも防衛的、外部からの武力攻撃から国を守る。一方でアラブやイスラエル間にあるような紛争を解決することが出来るような国連のもとでの国際警察機構を作ろうとなれば、日本は、大いに協力したいと考える。」

## 生まれた土地で不幸になるのはオカシイ「列島改造論」

「生まれた地域によつての格差は正さなければ。

恵まれない地方、恵まれないものが恵まれるような時代、状態を作る。

そのために GNP を上げ、所得を上げねば。

大都市中心主義を排除し、新しい国土の総合開発計画を土台に、水・公害の調整、日本海側と太平洋側を結び付けたい。」

### 【当時、何が起きたか】

\* ロッキード社は、「田中首相の事務所へ5億円」を隠ぺいしたとして有罪となる。

\* ロッキード事件が米議会で発覚直後、中曽根幹事長→ホワイトハウス宛に2つのメッセージが送られる。

「KURUSHII」 「MOMIKESU」

\* 児玉誉士夫氏にロッキード社から渡った21億円は、防衛省の P3C オンライン導入の対日工作資金

1機 77 億円、45 機 3500 億円。

\* 児玉誉士夫氏は、都合よく病氣となり証言できず、児玉ルートはうやむやに。

(ロッキード社からの児玉ルートでの日本の政界の名前リストには角栄氏の名前はなかった)

\* 1 審で有罪判決、高裁は、控訴棄却、最高裁の判決を待たず角栄氏死去で審理打ち切り。(当時、検事総長の布施健氏は、角栄氏逮捕の 1 週間前に、前尾繁三郎衆院議長に角栄氏にバッジを外して欲しいと説得を頼みに来た。

(公判維持に自信がなかった?)

\* 日本の政界事情 三木首相の角栄氏にたいする強い反感。

\* 検察のメンツ 「巨悪を眠らせない」などと言いながら手柄を 20 年間あげられていなかった。

(検察のスキャンダル? これも小沢さんの陸山会事件と共通)

## 【議論のテーマの例として】

～事件が、日本政界に及ぼしたものは～

\* 角栄氏は「アメリカの虎の尾を踏んだ」のか？

\* 米国側は、ロッキード社からの「カネが渡った日本の政治家」のリスト(当時の自民党幹事長。

議会の運輸委員長の名前など)を公表することはなかった。

しかし、そのリストは、名前の挙がっている日本の政治家の首は、(CIA など?)握られることになった。

【脅しのネタは、相手の攻撃を抑止する力として機能、交渉上の手練手管にも使える。相手首脳の恥部に関する秘密は、武力行為なしで、相手を屈服させる最終兵器にもなり得る。】

\* 角栄氏の列島改造から 50 年を経ての検証

\* キッシンジャー氏の角栄嫌いの意味

\* ロッキード事件から 30 年を過ぎて焼き直しのように小沢一郎氏の陸山会が起きた。

\* 角栄氏もトランプ氏も企業経営者という前身は似ています。共通点と違い。

